

## 第 9 回

開催日時	平成22年9月13日（月曜日） 午後6時35分～8時20分	
開催場所	沼袋地域センター 洋室3号	
出席者	委員	長谷川嘉昭、笹川 五郎、内山佐和子、鈴木 真司、古間 忍、竹内 実、石久保敏子、亀井 利一、柴田 恵、本間みどり、小林 尚美、隅田 亜弓、村越 昌昭、加賀田真理、内野 秀夫、千葉 千恵、吉村 恒治 (敬称略、順不同)
	事務局	学校再編担当
傍聴者	0人	
会議次第	<b>【議事】</b> 1 校章について 2 校旗について 3 緑野小学校のあり方について 4 その他	

## 第 9 回 丸山小学校・沼袋小学校統合委員会 会議要旨

## 委員長

定刻となったので、これより第9回統合委員会を開会する。  
本日、傍聴を希望する方はいないとのことである。

## 1 議 事

## (1) 校章について

## 委員長

それでは、議事に入る。

まずは、「校章」について、事務局より説明してもらう。

■資料「緑野小学校の校章について」に沿い、事務局より説明  
(概 要)

- ・ 前回の協議では、校章の基本となるデザインを決めていただき、それをもとにいくつかのアレンジしたデザインを用意して、再度検討するという事になった。このことに基づき、

以下のとおり校章デザインの候補を用意した。校章デザインの候補としては計5点となる。

- ・ 本日は、この5点の候補の中から、緑野小学校の校章デザイン（1点）を選定していただきたいと思う。
- ・ また、その選定したものについて修正などが必要であれば、その意見についてもまとめていただきたい。
- ・ さらには、通常校章には“校章の説明（由来）”といった文章をつけているが、その文案を学校のほうで考えていただいたので、それについても意見などがあれば伺いたいと思う。

《校章デザインの候補》

デザイン「1」：基本となるデザイン

デザイン「2-ア」：基本となるデザインに桜を1つ加えてアレンジしたもの

デザイン「2-イ」：「2-ア」の下の莖の部分をつなげ、その中に桜を収めたもの

デザイン「3-ア」：基本となるデザインに桜を2つ加えてアレンジしたもの

デザイン「3-イ」：「3-ア」の2つの桜の間隔を少し離れたもの

《校章の説明（案）》

この校章は、統合する丸山小学校と沼袋小学校の児童や関係者などから広く図案を募集し、応募作品の中から丸山小学校・沼袋小学校統合委員会での検討を経て定められたものです。

校章の2枚の葉は、緑野小学校に数多く植えられている樹木の葉を象徴するものであり、丸山小学校と沼袋小学校の2校を象徴するものでもあり、そして、地域と保護者の2枚の葉がまるで手のひらのように学校をやさしく包んでくれていることを象徴するものでもあります。

下にデザインされた桜は、緑野小学校で桜に迎えられて入学してから、桜に送られて卒業するまでのことを象徴しています。そして、上の葉が開かれているところから、子どもたちが巣立っていくように描かれています。

※ 「デザイン1」が選定された場合は、下線部分を削除する

**委員長**

事務局より説明があったが、意見などがあればお願いしたい。

**委員**

「2-ア」がよいと思う。桜の位置をもう少し上に上げると、よりよいデザインになるのではないか。

**委員**

私も、同じ意見である。「校章の説明（案）」に“桜に迎えられて入学してから、桜に送られて卒業するまで”という想いがあるように、桜をデザインの中に入れてほうがよいと思った。「2-イ」「3-ア」「3-イ」は下の莖の部分がつながっているので、「校章の説明（案）」の“2枚の葉が・・・やさしく包んでくれている”というイメージをうまく表すことができないのではないかと思う。また、「3-ア」「3-イ」のように細かく描かれた桜が2つあるとくどい印象を受ける。

**委員**

私も、「2-ア」がよいと思う。ただ、個人的な好みとしては、桜の花びらが離れているよりもくっついているほうが自然に感じる。

**委員**

前回の協議では、桜の花をうまく取り入れたいという意見が多かった。それを踏まえると、「2-ア」がよいと思う。葉のデザインは“緑野小学校に数多く植えられている樹木の葉を象徴するもの”となっているので、桜のデザインも「3-ア」「3-イ」のようにあまり具体的なものにしないほうがよい。また、校名の文字の字体は、自分でいくつか当てはめてみたが、専門家が考えたこの字体が一番よく合っている。文字と桜の位置はもう少し上げるとよいと思う。

**委員**

私は、「緑野」という校名から新緑の葉を強くイメージしている。これまでの協議の経緯もあるが、デザインの候補をよくよく眺めると「1」が一番シンプルでよいと思える。校章は小さなものにも使うので、あまり細かなデザインにしないほうがよい。また、桜を入れると白桜小学校の校章と混同されてしまうのではないかとも思った。

**委員**

私は、「2-ア」で校名の文字と桜の位置が少し上がっているものがよいと思う。桜の花びらについては、離れていてもくっついていてもこだわりはない。

**委員**

私も、第一印象では「2-ア」がよいと思った。「校章の説明（案）」を読むと、桜を入れる意味がよくわかる。

**委員**

私も、先ほどの“下の茎の部分がつながっていると、2枚の葉のイメージをうまく表すことができない”という意見を聞き、「2-ア」がよいと思った。桜の花びらは、くっついていなくても（このままでも）よいと思うが、位置は少し上げたほうがよい。

**委員**

「1」もシンプルでよいと思うが、前回の協議で桜を入れたほうがよいという意見があったので、桜を入れるとすると「2-ア」がよいと思う。

**委員**

前回までは桜を入れたほうがよいと思っていたが、改めて比べると「1」がシンプルでよいと思いはじめている。「3-ア」「3-イ」はくどい印象を受けるので、「1」か「2-ア」のいずれかがよい。校名の文字や桜の位置を上げるのはよいが、「2-イ」のように上げ過ぎるとバランスが崩れてしまうのではないかと思う。

**委員**

私も、改めて見るとシンプルな「1」に戻したほうがよいと思っている。「2-ア」「2-イ」の桜は、おまけで付け加えられたような印象を受ける。もし、桜を入れるとするならば、抽象的なものではなく、桜らしい桜をデザインしたほうがよいと思う。

**委員**

私は、第一印象で「2-ア」がよいと思った。桜の花びらについては、くっついていたほうがよいのか離れていたほうがよいのか何とも言えない。

**委員**

私は、「1」がよいと思う。

**委員**

私は、「2-ア」がよいと思っている。ただ、桜の花びらをくっつけるのであれば、「3-ア」「3-イ」にあるような桜にしたほうがよいのではないかと思う。

**委員長**

各委員より意見を伺ったが、多数決でいくと「2-ア」という状況である。桜の花びらをどうするかなどの意見もまとまっていないので、もう少し意見を出してもらいたいと思う。

**委員**

シンプルなものがよいという意見が出ているが、「1」はシンプル過ぎて寂しい印象を受ける。（緑野小学校が設置される）丸山小学校の桜はとてもきれいなので、私は「2-ア」がよいと思う。

**委員**

これまで校名などを決めていく際にも“グリーン”をイメージしてきたので、ここで校章に桜を入れるとなると一貫性がないように思う。また、桜を中央に入れるとそれが主張されるので、「緑野」ではなく「桜野」ではないかと感じる。桜は入れずに、緑の葉だけのほうが校名に合っていると思う。

## 委員

桜を入れるのであれば、「3-ア」「3-イ」のような桜で、おしべ・めしべがないものにする  
と、友だち同士が手をつないでいるように見えるのでよいと思う。

## 委員

緑野中学校の校章は2枚の葉が重なりあったデザインになっているが、同じ名前の小学校が  
誕生するということで、（同じように）葉をメインにしたデザインの「1」がよいのではない  
かと思う。緑野中学校の校章は少し大人びた感じのデザインになっているが、「1」は小学生  
らしさが感じられるような丸みのあるデザインになっている。

## 委員

確かに「1」はすっきりしていると思うが、下の空いたスペースに物足りなさを感じる。下  
の茎の部分は、つなげてしまうと野球のボールのようになってしまうので、つなげないほうが  
よい。校名の文字と空いたスペースの工夫が必要ではないかと思う。桜を入れたほうが収まり  
がよいと思ったが、どのようにしたらよいのか迷う。

## 委員

私も、当初は「1」がよいと思っていたが、前回の協議を踏まえて考えを切りかえるように  
してきた。桜を入れることで、全体のデザインに落ち着きが出るように感じる。

## 委員長

“葉”と“桜”のように、何種類かのものが混ざり合った校章はほかの学校でもあるのか。

## 事務局

統合新校として既に開校した桃花小学校の校章は、統合対象校の校章にあった桃の花、桃の  
実、ケヤキの葉が混ざり合ったデザインになっている。

## 委員長

私も、個人的には「1」がシンプルでよいと思う。「2-ア」「2-イ」「3-ア」「3-イ」は、  
“桜小学校”と“緑小学校”が統合したようにも見えてしまう。

## 委員

前回の協議では、校章デザインの候補に残ったものに桜を使ったものがいくつかあったので、  
基本のデザインとした「1」に桜をあしらってはどうかということになった。そういった経緯  
を考えると、「1」に戻るのをおかしいと思う。

## 委員

私は、これまでの経緯は経緯として、今回はデザインで決めていくべきだと思っている。2  
つの要素が入っているものは違和感があるので、どちらか1つでよいと思う。

## 委員

校章は、子どもたちの記憶に残る形がよいと思っている。桜に関しては、“緑野小学校の桜  
はきれいだった”という印象が残れば、あえて校章に残す必要はないと思う。

緑野中学校の校章は（中学校らしく）シャープで美しいデザインであるが、「1」はそれを  
小学校らしくかわいくしたデザインになっているのでよいと思っている。

## 委員長

なかなか意見がまとまらないので、多数決という方法もあるが、なるべく避けたいと思っ  
ている。ほかに意見があればお願いしたい。

## 委員

意見がまとまらないようであれば、少し視点を変えて、近くの委員同士で小さなグループを  
作り、それぞれで相談してみてもどうか。

## 委員長

“小さなグループを作って相談してはどうか”という提案があったので、そのようにしたい  
と思う。

—— グループ討議 ——

#### 委員長

それでは、意見があればお願いしたい。

#### 委員

私の近くでは、校章デザイン募集で応募のあった作品の中にも桜をデザインしたものがいくつかあったので、その想いを残すためにも「2-ア」がよいという意見が出た。桜の主張が強いということであれば、少し小さくしてもよいという声もあった。

#### 委員

これまでの意見を聞くと、桜に対する強い思い入れがあって、個々でイメージが違っていると感じる。デザインは「2-ア」がよいという意見と「3-ア」がよいという意見があり、花びらではくっつけたほうがよいという意見と離れたほうがよいという意見があって、なかなか一つに絞り込むことができない。仮にまたデザインを修正しても、個々のイメージしたものとは微妙に違うものになると思う。いろいろ考えると、やはり「1」にするのがよいのではないかと思っている。

#### 委員

桜は、どの学校にもあてはまる花なので、校章に入れることで邪魔になるものではないと思う。桜が入ることで、2枚の葉につながりができ、デザインとして落ち着きが出る。

#### 委員

これまでの協議の経緯を尊重するのであれば「2-ア」であり、“緑野”を象徴するデザインとして考えるのであれば「1」である。どこにポイントを置いて決めるかによると思う。

#### 委員

校名を決める際に、“花”や“桜”は、既に統合した桃花小学校や白桜小学校と似かよってしまうのでやめようという意見があった。もし校章に桜を入れるのであれば、そうした経緯も踏まえて、控えめでシンプルなデザインがよいと思う。

#### 委員

デザインの観点から考えると、「1」がよいと思っている。2枚の葉は具体的に何の葉ということではなく象徴的なものなので、そこに桜が入るのは唐突だと感じてしまう。

#### 委員

私は、「2-ア」がよいと思う。桜は日本の象徴であり、それがイメージされてよいという気がする。

#### 委員長

(グループ討議も経て) 意見を伺ってきたがまとまらないので、投票を行いたいと思う。「1」と「2-ア」のうち、よいと思うものを一人一票でお願いしたい。

—— 投票 ——

#### 事務局

投票結果をお伝えする。本日出席している委員は17名で、「1」が12票、「2-ア」が5票であった。

#### 委員長

それでは、この投票結果を踏まえて、緑野小学校の校章のデザインは「1」にしたいと思うがよろしいか。

—— 異議なし ——

#### 委員長

次に、「校章の説明」であるが、校章に桜を入れないこととしたので、「校章の説明(案)」の下線部分を無くすこととし、多少修正したうえでまとめたいと思うがよろしいか。

—— 異議なし ——

#### 委員長

それでは、そのように決定する。

本日取りまとめた意見は、後日教育委員会へ報告する。事務局は、その手続きを進めてもらいたい。

## (2) 校旗について

### 委員長

次に、「校旗」について、事務局より説明してもらう。

■資料「校旗の制作について（参考資料）」に沿い、事務局より説明（概要）

- ・ 配付した資料は、中野区で既に開校している統合新校の校旗である。一般的に、形は横長の長方形で、濃い色の生地を使用し、校章や校名の刺しゅう部分には金糸や銀糸を使用することが多くなっている。校旗に教育目標を入れている学校もあるが、教育目標は変わる可能性もあるので、ほとんどの学校では入れていない。
- ・ 本日は、緑野小学校の校旗についての意見を取りまとめていただきたいと考えているが、金糸や銀糸の使い方など細かな部分をこの場で決めていただくのは難しいと思われるので、それについては両校と事務局とで業者と相談しながら決めさせていただき、統合委員会では生地の色や形などの大まかな部分について決めていただければと思う。
- ・ なお、本日は両校の校旗（実物）のほか、校旗のカタログや色見本などを用意したので、協議の参考にさせていただきたい。

### 委員長

事務局より説明があったが、まずは校旗のカタログなどを見ながら検討していただきたいと思う。

—— 以下、校旗のカタログなどを見ながら検討 ——

### 委員長

それでは、意見などがあればお願いしたい。

### 委員

校名が「緑野」なので、校旗の生地の色は緑色がよいと思う。

### 委員

私も、同じ意見である。

### 委員

「緑野小学校」で、校旗の色が赤やオレンジではおかしい。緑色で濃い色にするか薄い色にするかなどを協議すればよいと思う。

### 委員

緑野中学校の校旗も緑色だが、その色より明るめの緑色がかわいらしくてよいのではないか。

### 委員

私も、緑野中学校のものよりも明るい緑色がよいと思う。

### 委員長

それでは、緑野小学校の校旗について、生地の色は緑色を基本にするということによろしいか。

—— 異議なし ——

### 委員長

次に、生地 of 微妙な色の加減や校章の刺しゅうなど、細かな部分については両校と事務局とで業者と相談しながら決めてもらうことにしたいと思うがよろしいか。

—— 異議なし ——

### 委員長

次に、教育目標を入れるかどうかについては、事務局より説明があったように変わる可能性

もあるので、入れないということによろしいか。

—— 異議なし ——

#### 委員長

それでは、そのように決定する。

本日取りまとめた意見は、校章と同様に後日教育委員会へ報告する。事務局は、その手続きを進めてもらいたい。

### (3) 緑野小学校のあり方について

#### 委員長

次に、「緑野小学校のあり方」についてである。まずは、議題の趣旨について、事務局より説明してもらう。

#### ■議題の趣旨について、事務局より口頭で説明

(概要)

- ・ 緑野小学校の教育目標や教育活動については、両校で検討を進めていただいているところであるが、この夏休み期間には集中的に話し合いが進められて、この度それらの案をまとめていただいた。
- ・ 本日は、その案について学校より報告していただき、各委員より“新しい学校に望むこと”などのご意見があれば伺いたいと考えている。

#### 委員長

次に、資料の内容について、学校より説明してもらう。

#### ■資料「平成23年度学校教育全体計画（案）〈緑野小学校〉」に沿い、学校より説明

(概要)

- ・ 「教育目標」は、『すすんで学び表現する子』『思いやりをもって行動する子』『明るく元気に運動する子』とした。1年生から6年生までの子どもたちが、どんな目標に取り組みやすいのか、わかりやすいものがよいと考えている。また、教育目標は“知・徳・体”の3本柱で組むことが多いが、それに合わせたかたちとなっている。
- ・ 「めざす学校」の中では、学校だけではなく地域や保護者の方の協力を得て、子どもたちが“地域の子”として育っていくという意味づけで、「めざす子ども像」「めざす地域像」「めざす教職員像」「めざす保護者像」をそれぞれ掲げさせてもらった。
- ・ 「めざす学校の実現のための具体的な教育活動」としては資料のとおりであるが、運動で活躍する子、音楽で活躍する子、勉強で活躍する子、遊びで活躍する子など、いろいろな場面をつくってあげることが大切ではないかと考えている。

### 平成23年度 学校教育全体計画（案）

#### 【学校の教育目標】

地域社会の中で、人と社会、自然環境と協調しながら、たくましく生きるための基礎的・基本的な能力と態度の育成を目指し、次の目標を設定する。

- す す ン で 学 び 表 現 する 子
- 思 い や り を も っ て 行 動 する 子
- 明 る く 元 気 に 運 動 する 子

#### 1 めざす学校

子どもを中心に据え、学校（教職員）、保護者、地域がそれぞれの役割を担って集う学校づくりをめざす。

《めざす学校像》

子どもが目を輝かせて学び、保護者、地域が温かく支え、教職員が熱意をもって指導にあたる学校

～学ぶ感動、集う楽しさ、支える喜び、働く喜びのある学校～

〈めざす子ども像〉

○ 進んで学び 表現する子

- ・ 考えることが好きで、苦手な勉強にも積極的に挑戦して学力を身につけようとする子
- ・ 学校や地域の中で人と自然とかかわりあいながら意欲的に学ぶ子
- ・ 話す、書くなどの表現活動、音楽や図工などの創造的な表現活動を意欲的に行う子

○ 思いやりをもって 行動する子

- ・ 地域の人や様々な立場の人のために役立つことを進んで行う子
- ・ 言葉遣いに気をつけ、いろいろな立場の人とコミュニケーションがとれる子
- ・ 思いやりの気持ちをもち、自分も他の人も大切にすること

○ 明るく元気に 運動する子

- ・ 夢や希望をもち、悲しさや苦しさを乗り越えるたくましさをもつ子
- ・ 明るく元気にあいさつができ、進んで運動や外遊びをする子
- ・ 心や体の健康と安全に気をつけて生活する子（困ったときには身近な人に相談できる子）

〈めざす地域像〉	〈めざす教職員像〉	〈めざす保護者像〉
<p>○ 学校での指導と連携して子どもを育て、学校や家庭だけでは不足する面を意図的に補い、社会の一員として子どもたちを育てていく地域。</p>	<p>○ 学力と社会性をつけるために授業改善、教材開発などに積極的に取り組み、子どもとよくコミュニケーションをとりながら熱心に指導に当たる教員とそれを様々な立場から支える職員。</p>	<p>○ 学校との指導と連携して子どもを育て、学校だけでは不足する面を意図的に補い、社会の一員として子どもたちを育てていく家庭。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもが社会の中でたくましく生きられるようによき支援者となる。</li> <li>・ 教育ボランティアとして持っている教育力を学校や地域の健全育成活動で役立てる。</li> <li>・ 子どもの安全や地域環境の課題を学校と連携して解決し、子どもによい地域社会を整える。 (交通事故、不審者等から守る)</li> <li>・ 地域の教育の大切さを知り子どもの健全育成に努める。(社会規範、マナー)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの基礎学力の向上のために、進んで研修して専門職としての力量を高める。</li> <li>・ 様々な子どもが集まっている学校という場を利用して、学び合いやかかわり合いを積極的に進め、子どもたちに学力や思いやりの気持ち、社会性を身に付けさせる。</li> <li>・ 子どもの指導に情熱と愛情をもってあたる。</li> <li>・ 子どもや保護者の悩みや相談に誠意をもって対応する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PTA活動、町会等の地域活動に進んで協力、参加する。</li> <li>・ 教育ボランティアとして持っている教育力を授業やサマースクールの講座などに役立てる。</li> <li>・ 子どもの話をよく聞き、よき相談相手、よき助言者として子どもの成長を見守る。</li> <li>・ 社会のルールを守る大切さを身に付けさせることによって、子どもの規範意識を高めていく。</li> <li>・ 社会生活をしていく上で</li> </ul>



<p>等の定着)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもや学校によさを伸ばす。</li> <li>地域行事を通して子どもの地域社会への帰属感を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校や学級の取り組みや子どもの様子を積極的に家庭に知らせ、情報を共有しながら連携して子どもの指導にあたる。</li> <li>保護者や地域の願いを受け止め、進んで連携・協力しようとする。</li> <li>課題に組織的に素速く対応する。</li> </ul>	<p>必要最低限のスキル（マナー、譲り合い、思いやりなど）を身に付けさせていく。</p>
---	--	--

※ 2学期制の特性を生かし、学期ごとの切れ目のない年間を通した連続的な教育活動を推進する。

## 2 めざす学校の実現のための具体的な教育活動

学校教育目標の具現化のために、地域の人と社会および自然と協調しながら生きていくことができる子どもを育てる教育活動を推進する。そのために、「学び合い」「かかわり合い」「きたえ合い」の「3つの合い」をキーワードとし、以下のような取り組みを通して豊かな人間性を培っていく。

### 【学び合い】

個々の考える力と相互に深め合うためのコミュニケーション能力を育てるために、話し合い、伝え合い、考え合いなどの学び合う学習をいろいろな教科で積極的に取り入れる。児童が「わかる喜び」「できる喜び」「感じ、考え、表現する喜び」を実感できるようにするために、まず、基礎的、基本的な学習の指導をていねいに行い、放課後や長期休業中の補習によって補う。さらに、校内研修による授業改善を進める。また、5・6年は担任の交換授業を行う。

### 【かかわり合い】

自主性や責任感、思いやりの心を育てるために、「校外班活動」などの異学年交流や地域にいる年齢も立場も違ういろいろな人との交流活動を年間を通して積極的に行っていく。また、たんぼぼ学級との交流活動も積極的に進めていく。

各学年の教師と子ども、子ども同士のかかわり合いを深めるための時間を確保するために「子どもとふれあう日（教師と子どもの時間）」を年間計画に位置付けて実施する。一緒に遊ぶ、一緒に話し合い考える場としていく。

夏季休業中には、保護者や地域の教育力を借りながら学び有り、ふれあい有り、楽しみ有りの様々な講座を開き、緑野サマースクールを実施していく。

全職員や保護者、地域ボランティアによる本の読み聞かせ活動を積極的に行い、様々な人とのつながりを深め、本好きの子どもを増やしていく。

緑野小学校金管クラブの立ち上げにより、緑野中学校吹奏楽部との交流、地域行事への参加など様々な地域の人々との交流を深めていく。

緑野小学校の恵まれた自然環境とのかかわりを生かした教育を推進する。栽培園やピオトープの活用を進め、栽培活動や自然観察などの自然体験活動を積極的に行う。また、いろいろな物づくりを通して、物とのかかわりを深めて自然や資源を大切にしていけるために工夫した生活をしていく意欲と態度を育てる。

### 【きたえ合い】

たくさんの友達と競い合ったり、支え合ったりしながら運動や遊びをし、たくましい体と健康な心を育てる。また、安全に気を付けて生活する態度を身に付けていく。

朝の時間や朝会の時間を利用して、様々な活動に取り組むことによって、体力の向上や運動に親しむ態度の育成を図っていく。

#### 委員長

事務局と学校より説明があったが、意見などがあればお願いしたい。

#### 委員

私が勤務している学校には吹奏楽部があるが、多い時には90名くらいの部員が在籍し、音楽会なども開催してとても盛り上がっている。緑野小学校でも金管クラブを立ち上げるとなっているが、ぜひとも活発に進めていってほしいと思う。ただ、楽器が揃っていないことが気がかりではある。

#### 委員

現時点では楽器が足りない状況なので、(統合する)沼袋小学校から少し分けてもらったり、教育基金などの申請をしたりして、徐々に揃えたいと考えている。

#### 委員長

中学校の吹奏楽部では、楽器の費用をどうしているのか。

#### 委員

中学校の吹奏楽部では、ほとんどが自前の楽器である。小学校でも吹奏楽に力を入れている武蔵台小学校では、自前の楽器が多いと思う。

#### 委員長

学校にある楽器だけでは足りないとのことなので、今後、地域としても何か協力をしていければと思う。

#### 委員

すぐに武蔵台小学校のレベルになると思われては困ってしまう。ひな鳥からのスタートなので、ぜひ皆さんのご協力もお願いしたい。

#### 委員

毎週一定の時間に、音が聞こえてくるということが素敵なことである。

#### 委員長

ほかに意見などがあればお願いしたい。なければ、本件については終了する。

### (4) その他

#### 委員長

次に、「その他」に移る。

まずは、「校歌」について報告があるとのことなので、事務局より報告してもらおう。

#### ■資料「校歌の制作について」に沿い、事務局より報告

##### (概要)

- ・ 緑野小学校の校歌の制作者については、各委員からの提案をもとに、委員長、副委員長、両校の校長で交渉順位を決めていただき、事務局で交渉を進めてきたところである。この結果として、作詞を「秋葉てる代」氏に、作曲を「渡部節保」氏に依頼することが決まったので報告する。
- ・ また、依頼にあたっては、両校の児童などから募集した“校歌の歌詞に入れたい言葉”を統合委員会の協議に基づいて修正し、両氏へ参考として渡したので併せて報告する。
- ・ なお、今後、歌詞や曲について、制作者より点検を依頼されることが考えられる。点検を依頼された場合、時間的な制約もあるので、委員長、副委員長、両校の校長などに一任していただけないかと考えているが、本日そのことについて確認をしていただきたい。

#### 委員長

事務局より報告と確認があったが、基本的には作詞・作曲された作品を修正するのは失礼にあたると思っている。よって、点検を依頼された場合でも、校歌に望ましくない言葉があるかどうかを確認する程度になると思うので、我々(委員長、副委員長、両校の校長)に一任して

もらえればと思うがよろしいか。

—— 異議なし ——

#### 委員長

次に、「学校指定品等」について報告があるとのことなので、学校より報告してもらおう。

#### ■学校指定品について、学校より口頭で報告

(概要)

- ・ 緑野小学校の学校指定品等については、両校で検討を進めているところであるが、現時点では次のような品目を指定していく方向で考えている。

- 体育着・上＝白（首と肩が紺のライン、胸に校章入り）
- 体育着・下＝紺
- ※ 体育着の上下は、現在丸山小学校で使用しているものを基本に色などを検討中
- 水泳帽子＝黄
- ※ 水泳帽子は、現在丸山小学校と沼袋小学校で使用しているものが同じなので、引き続き使用していく予定
- 通学帽子＝グレー（緑のライン）
- ※ 通学帽子は、業者に試作品を作ってもらいながら色などを検討中

#### 委員長

学校より報告があったが、質問などがあればお願いしたい。

これらの学校指定品等の支給についてはどのようになるのか。

#### 委員

丸山小学校と沼袋小学校に通っている1年生から5年生までの児童で、統合時に緑野小学校に通う児童については、これらの学校指定品等が教育委員会より支給される予定である。

#### 委員長

ほかに質問などがあればお願いしたい。なければ、本件については終了し、本日の議事を終了する。

最後に、次回の日程調整を行う。

—— 日程調整 ——

#### 委員長

次回は、来年の1月24日（月曜日）から1月27日（木曜日）までを開催候補日にするとし、決まり次第事務局より連絡してもらおうこととする。

本日の統合委員会は、これをもって閉会する。